

平成 23 年度 (2011 年度)

事業報告

平成 24 年度 (2012 年度)

事業計画(案)

事業報告

<総括報告>.....	2	4 日本語学習事業	
1 外国人の人権擁護と自立支援		4-1 日本語教室.....	13
1-1 生活相談.....	3	4-2 国際子どもクラブ.....	14
1-2 シェルター.....	4	5 子どもの健全育成事業	
1-3 DV講習会・生活相談勉強会.....	4	5-1 子どもの健全育成支援.....	14
1-4 パソコン教室.....	5	6 行政・NGO との協働	
1-5 携帯電話通訳事業.....	5	6-1 行政関係会議.....	15
2 国際理解と国際交流の推進		6-2 NGO・NPO・協力ネットワーク.....	16
2-1 国際理解講座、イベント.....	7	7 その他	
2-2 大学との協働、インターシップ.....	8	7-1 機関誌「ハローフレンズ」.....	17
2-3 語学教室.....	9	7-2 ホームページ.....	18
3 多言語情報の収集と提供		7-3 センター利用.....	19
3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」...9		7-4 スタッフ会議・理事会・その他.....	20
3-2 生活ガイドホームページ.....	11		
3-3 翻訳.....	12		
3-4 出版、編集.....	12		

事業計画 (案)

1 事業計画一覧.....	23
2 事業計画 (案).....	24~25

平成23年度 事業報告

《総括報告》

3月11日の東日本大震災のショックと絶望。自然の脅威に対する無力感と余震への恐怖で始まった平成23年だった。一人ひとりが傷つき悩み、長い時間自問自答した後にした答えは「自分達にできる事をただひたすら続けていく」という事だった。幸いセンターには大勢の仲間がいる。待っていてくれる外国人がいる。頑張れ！と応援してくれる人がある。だからなんとか今年も活動を続けることができた。

15年前240万円の出資金で始めた活動が、今年はコミュニティビジネスとしての携帯電話事業や、埼玉県福祉課からの講師派遣委託事業が増えて、2000万円近い収入となった。その結果、担当部署によってスタッフに対する費用弁償の格差が生じてしまった危惧はあるが、常駐の事務員さんを雇うことができた。お陰さまでスタッフ間の情報の共有がスムーズになった。

また今年は特に、それぞれのプロジェクトでの若いスタッフの皆さんの活躍が目立った年だった。ものおじしないエネルギーと斬新なセンスで枯渇しがちなNPO活動をぐんぐん引っ張ってくれた。センターの次世代を担うに十分な人達の出現を心から頼もしくうれしく思っている。

(文責：石井ナナエ)

事業名	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者	
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	5日/週	センター・他	10名	698件	
	シェルター	通年	センター・県内	10名	延288名	
	DV講習会・生活相談勉強会	16回	センター・他	8名	100名	
	パソコン教室	第2,4木曜24回	センター	延52名	延130名	
	携帯電話通訳事業	月-金 12時-17時	県内	13名	450名	
国際理解と国際交流の推進	国際理解社会教育	国際理解講座	19回	小中高校・公民館他	15名	1,000名
		大学との協働	7大学	大学・県NPO活動推進課	8名	1,000名
	語学教室	中国語教室	金曜	センター	延63名	延171名
		英語教室	木・火曜47回	西公民館	延47名	延289名
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	12回	センター	11名	4800部	
	生活ガイドHP維持管理	4回/年	センター	6名	アクセス数 73,430件	
	翻訳	80件	センター・県内	延130名	埼玉県民	
	出版、編集	随時	センター・他	13名	3,000名	
日本語学習支援	日本語教室	49回	センター	5名	延159名	
	国際子どもクラブ	土曜、長期休暇中	センター	延277名	延284名	
子どもの健全育成	子どもの健全育成支援	月・水・金 292回	藤久保公民館・他	延1,484名	延2,343名	
行政との協働	行政との協働事業	8月～3月	県内	30名	埼玉県民	
	NGO・NPO・協力ネットワーク	39回	県内	3名	埼玉県民	
その他	機関誌の発行	隔月	センター	3名	6000部	
	ホームページ	随時	センター	1名	アクセス数 299,746件	

1 外国人の人権擁護と自立支援

■1-1 生活相談

今年も多数の方々から相談を受けた。ふじみ野市、富士見市、三芳町（以下「2市1町」）では市役所の窓口で「ふじみの国際交流センターに行って相談して下さい」と言われて来所した外国人が多数いる。センターは、これらの自治体から外国人生活相談の窓口業務の委託を受けているので、大いに利用してもらいたいと思っている。

また2市1町以外の地域からの相談が7分の1を占めるようになった。あらゆる機会を利用して「市町村毎に外国人生活相談窓口を設けませんか」と呼びかけているが、なかなか踏み出してくれない。センターの生活相談は「必要な人には同行支援をする」をモットーにしているが、遠方の人からの相談にはそれができず悩んでいる。また、出身国も多彩でアジア諸国だけでなく、中米・南米・アフリカの人からも相談を受けるようになった。在日人数も極端に少なく、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語以外の言語を使用する彼等にどう情報を伝達し、どうサポートしていったらいいのかがこれからの課題である。

昼夜を問わず頻繁に持ち込まれる悩み事・生活相談は、センターの定款にある「外国人の人権擁護と自立支援」のための重要な事業活動である。

センターでは、特にDV被害を受けた外国人女性などの生活手段確保のために、生活保護の申請等の協力も行っているが、ともすれば生活保護を受ける状況に慣れてしまう相談者に対して、センターの支援スタッフは長い時間をかけて「働くことの大切さ」をねばり強く話してきている。そうした努力が実って、今年は二人が仕事が見つかり生活保護から自立した。これからも、どんな人でもあるがままに平等に受け入れ、親身になって寄り添っていくセンターの方針を堅持していきたい。

医療	医療費、病院へ同行（入院手続き等）、うつ、アルコール依存	31
家族	離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども	58
教育	学校との連絡、日本語支援、学習支援、入園・入学手続き	319
言語	日本語指導、翻訳、通訳、代筆	73
司法	税金、犯罪、裁判・法務局対応支援、子どもの国籍	34
住居	住まい探し、引越しの手伝い	12
生活	生活費、生活保護、近隣関係、国民年金・保険手続き	85
入管	ビザ、外国人登録証申請・更新、帰国、保証人	31
労働	求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害	53
その他	ボランティア希望、友達がほしい	2
合計		698件

フィリピン	256
中国	187
コロンビア	55
ブラジル	51
日本	43
スリランカ	24
ペルー	19
ベトナム	12
その他	51
計	698件

ふじみ野市	327
三芳町	143
富士見市	135
朝霞市	14
川越市	14
その他	65
計	698件

その他——
八潮市、東松山市、
さいたま市、新座市、
所沢市、鶴ヶ島市、
川口市、川島町、
戸田市など

日本——外国人の配偶者や知人、
外国人から相談を受けた行政職員など

■1-2 シェルター

今年度の成果として婦人相談センターが要となり、転出転入する市町村の担当者が連絡を取り合い、移管の手続きが迅速にできるようになった。そのお陰でシェルタースタッフが入所者の生活支援に集中できるようになったことは大きい。

また、今年度の終わりにはアサポート（埼玉県生活保護受給者チャレンジ支援事業事務所）の協力を得て、住宅が早く決まり生活保護や子育て支援の手続きなど、細かに関わることができるようになった。

シェルタースタッフ内では4～5人のチームを作り、交互にシェルターを訪問し自立の支援を行っている。外国人スタッフの力は大きく、同じような体験をした外国籍のスタッフが自分の経験を話すことで、入所者が自立の意識を持つための大きな力となっている。

今年は、警察や裁判所との関わりも多かった。暴力団組織や売春組織と関わった入所者がいたためだ。警察官立会いでの活動だったが、安全に気をつけなければならぬと強く感じた。

その他に、いつも母親と一緒に入所してくる子ども達のことを気にかかると。母親の側を離れない子どもが毎日センターに関わることにより、徐々に本来の姿を取り戻していくことはスタッフにとって大きな喜びである。シェルターで心と体を癒し、元気になってほしい。力をつけたら出発だ。

困ったとき、うれしいことがあったとき、相談に、報告に来てほしいと声をかけて見守っている。

入所期間		入所者		人・日
4/13～5/22	38日	中国人女性と男児	2人	76
8/5～9/5	31日	フィリピン人女性	1人	31
9/8～10/4	26日	フィリピン人女性と男児	2人	52
12/23～1/16	24日	タイ人女性	1人	24
2/3～2/23	21日	フィリピン人女性	1人	21
3/21～4/11	21日	モンゴル人女性と子ども3人	4人	84
計			11人	288

■1-3 DV講習会・生活相談勉強会

4/19	保科先生勉強会「人生脚本Ⅰ」
5/11	DV被害者支援講座 埼玉共済会館
6/28	保科先生勉強会「人生脚本Ⅱ」
10/27	外国人の在留資格について 場所/北浦和合同庁舎
10/27	DV被害者支援担当者研修
11/4	難民受入れについて 場所/笹川財団
11/8	企業とNPOの協働フォーラム 場所/新都心ビジネス交流プラザ
11/16	外国人の就学支援について 場所/文科省
11/22	保科先生勉強会「人生脚本Ⅲ」
11/25	DV被害者支援研修会 海老原夕美先生 場所/埼玉会館
12/2	外国人相談研修会 場所/北浦和合同庁舎
12/21	多文化共生プラン策定委員会 場所/浦和防災センター
1/20	DV対策5カ年計画策定委員会 場所/埼玉会館

1/21	DV 講座（生活保護とは。心を開くカウンセリング） 場所/うれし野まちづくり会館 参加/25人
2/4	DV 講座（入管法について・シェルターの運営） 場所/うれし野まちづくり会館 参加/18人
2/6	DV 関係者研修 場所/さいたま商工会議所

■1-4 パソコン教室

一昨年から開始した一般受け入れ枠の授業は定着率・継続率ともに高く、かなり密度の濃い授業が継続できた。生徒の意識も高くレベルの高い内容になっていた。

それに対して外国人枠は、日本での生活や日本語理解が優先なので、単発的な授業になりがちとなった。積極的に外国籍の方の不安や心配を解消してあげられるサポートがもっと必要だったのかもしれないと反省している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

学習者

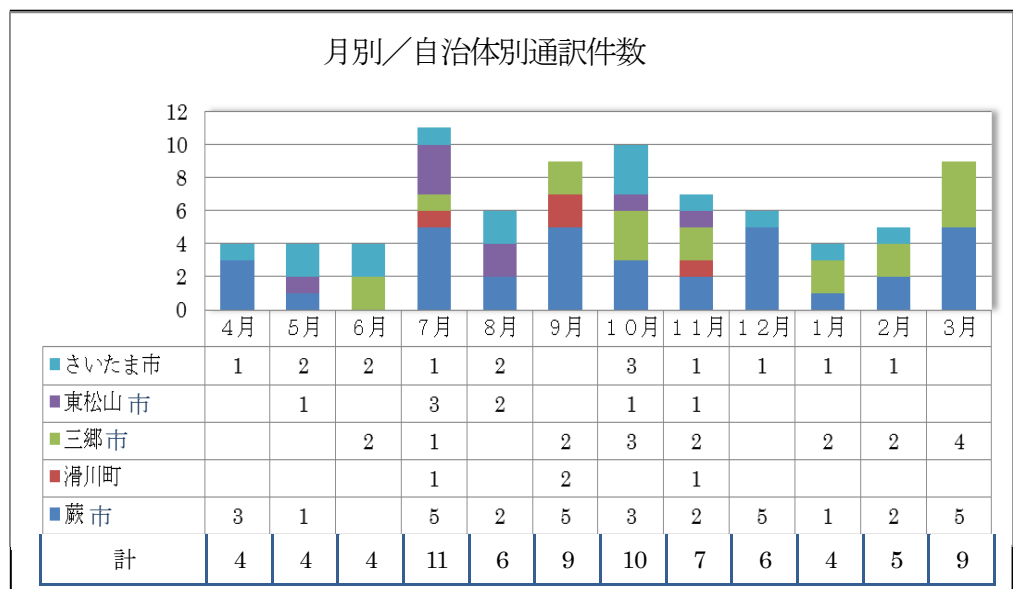
外国人	0	2	4	3	2	1	3	2	1	1	1	0	20
スタッフ	6	5	6	4	3	2	2	1	3	1	2	1	36
外部学習者	6	8	7	5	6	6	5	5	7	6	6	7	74
計	12	15	17	12	11	9	10	8	11	8	9	8	130

講師延べ人数	6	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

■1-5 携帯電話通訳事業

平成 23 年度は、さいたま市 10 区、蕨市、三郷市、東松山市、滑川町と契約締結。ふじみの国際交流センターが独自で事業を展開することになった。さいたま市を除く 4 市町は、平成 22 年度埼玉県国際課との協働事業からの継続。さいたま市は外国人登録者数が 16,698 人（平成 23 年 12 月末現在・埼玉県国際課調べ）と、多くの外国人が生活をしている。このため、行政窓口での通訳のニーズが高いと予想され、外国人に対する行政サービス向上の一環として、この携帯電話通訳事業を市内 10 区で行うことになった。

事業のしっかりとした土台を作るために、事務局会議を毎月 1 回開催。平成 22 年度から引き続き NPO 法人セカンドリーグ埼玉がコンサルタントとして参加し、事業のミッションの確認や、利用者拡大、サービス向上のために必要な内容の検討などを行ってきた。



【研修】通訳者に対しては研修会を毎月1回開催し、通訳がスムーズに行えるための知識を幅広く学習した。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
事業概要説明	個人情報保護	ストレスマネジメント	文章の書き方	ストレスマネジメント	国民健康保険 I
10月	11月	12月	1月	2月	3月
ビザと在留資格	税金の仕組み	国民健康保険 II	生活保護	公的年金制度	コミュニティー通訳

【助成金申請】事業継続の資金獲得のために、トヨタ財団への助成金申請を行ったが、不採択となった。

【その他】行政に対するサービスの一環として、FICEC 通信を毎月1回メールにて発信した。

NPO法人セカンドリーグ埼玉にて、研修内容の検討、助成金申請書作成、チラシ作製等を行った。

23年4月	さいたま市 (13、22日)、蕨市 (7日)、三郷市 (6日)、東松山市 (11日)、滑川町 (12日) と契約締結、NPO法人セカンドリーグ埼玉と契約締結 (7日) 通訳者研修会 事務局会議 (20日)
5月	通訳者研修会 (7日) 事務局会議 (7日)、APFS 訪問 (30日)
6月	通訳者研修会 (4日) 事務局会議 (4日)
7月	行政訪問 (東松山市 20日、三郷市 29日) 事務局会議 (25日) FICEC 通信(15日)セカンドリーグにて研修 (5日)
8月	通訳者研修会 (1日) 行政訪問 (滑川町 3日、さいたま市 11日、蕨市 11日) 事務局会議 (24日) FICEC 通信(15日) セカンドリーグにて研修 (24日)
9月	通訳者研修会 (5日) 事務局会議 (9日)、行政訪問 (東松山市 20日)、さいたま市 26日、蕨市 26日、滑川町 29日、三郷市 30日) FICEC 通信(15日)セカンドリーグにて研修 (28日)
10月	通訳者研修会 (3日) 事務局会議 (20日、26日) FICEC 通信(15日)
11月	通訳者研修会 (7日) 事務局会議 (17日) トヨタ財団助成金申請提出。FICEC 通信(15日)セカンドリーグにて研修 (1日、2日)
12月	通訳者研修会 (5日、27日) 事務局会議 (15日) FICEC 通信(15日)
24年1月	事務局会議 (19日) FICEC 通信(15日)セカンドリーグにて研修 (11日、31日)
2月	通訳者研修会 (6日) 事務局会議 (24日) FICEC 通信(15日)セカンドリーグにて研修 (8日、9日、29日)
3月	通訳者研修会 (5日) 事務局会議 (19日) 行政訪問 (東松山市 29日) FICEC 通信(15日) セカンドリーグにて研修 (12日)

【成果と課題】

・成果

毎月行われている通訳者研修会で学習したことが、そのまま通訳の場面で生かされることが多かった。幅広い知識を身につけることがスムーズな通訳に繋がり、利用者や行政担当者の満足に繋がったと感じる。3月末の行政訪問では、「件数は多くはありませんが、この通訳サービスが無かったら、本当に困ったことになっただろうと思います。今後も続けていきたい。」という嬉しい感想も頂けた。件数は合計で79件となり、着実に増加している。特に蕨市は、担当者にこのサービスが浸透してきているため、コンスタントに依頼が入るようになった。

・課題

利用者である外国人にこのサービスをどう伝えていけばいいのかが、広報の仕方を考える必要がある。市役所・町役場内での担当者への周知が難しいこともうかがえる。また、行政に対する事務処理がタイムリーに行えなかった

ときもあった。携帯電話通訳の付帯サービスとしてさいたま市10区、蕨市、三郷市、東松山市、滑川町を対象に固定電話からの生活相談サービスを開始し、相談員を下記の通り配置したので、今後広く利用されることを期待する。

【付帯サービス】多言語での生活相談対応

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
ポルトガル語	英語・タガログ語	中国語	中国語	英語・タガログ語
時間：13:00 - 16:00				

2 国際理解と国際交流の推進

■2-1 国際理解講座・イベント

国際理解講座は学校や公民館などから依頼を受け、多文化共生の実現に向けて講座や料理の講師派遣を行った。今後も外国人支援の輪を広げるためにも要望があれば、積極的に豊富な講師陣で対応したいと考えている。

月日	内容	講師
6/17	川越高階北小学校6年	金子杜子 カンムンヒ 杉澤光代 山畑
8/26	大井社協との協働(体験!ワールドツアー)	チャミラ チャミンダ 上島
9/16	富士見市立勝瀬小学校	アルカリ・ビショ ニーランティ ソク 上島
9/30	外国人地域デビュー「Let's enjoy 国際交流」I「駅前広場のゴミ拾いと交流会」	
10/25	外国人地域デビュー「Let's enjoy 国際交流」II「交通ルール」	
10/28	富士見市関沢小学校	ノエミ ニーランティー ジャヒ 山畑
11/5	国際フェア 場所/けやき広場	荒田
11/13	富士見市国際交流フォーラム	エミリン 柳アンナ 石井 阿澄 長谷川 山畑 岩田 矢澤 森田 サラ エレナ
11/23	外国人地域デビュー「Let's enjoy 国際交流」III「公園内のつつじの植樹」	
11/27	Americaを知ろう。 グローバルコミュニケーションフォーラム	ティム シンディー 山畑 新井 奈良 石井
12/9	ふじみ野市立元福小学校 総合学習	サタール 崔 山畑
12/17	地域で支えあう多文化社会 富士見市民大学公開講座 人権教育講演会	石井 秋元ノエミ チャミラ ビショ 山畑
1/7	外国人地域デビュー「Let's enjoy 国際交流」IV「川越七福神スタンプラリー」	
1/21	ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校 国際理解教育	米倉あけみ エミリン 山畑 ニーランティ
1/22	欧米の人と仲良くなろう グローバルコミュニケーションフォーラムII 場所/にいざホットプラザ	ティム デビッド エレナ 山畑 新井 阿澄 石井
2/1	ボランティア養成講座 場所/大井中央公民館 フラワーアレンジメント	ジュリエッタ マルタ 近澤 秋元 ニーランティー 戸塚 新井洋子 阿澄 野沢 松戸

2/8	ボランティア養成講座 場所/大井中央公民館 台湾の正月料理	寺村 山崎 阿澄 石井 野沢
3/3	人権教室 場所/大井中央公民館 「親子で国際理解 パキスタンの民族料理」	サルマ サタールと子ども達 上島 石井
3/18	アジアを知りニッポンを知る グローバルコミュニケーションフォーラムⅢ 場所/にいざホットプラザ	チャミラ チャミンダ 穴沢エミリン 新井 山畑 石井

■2-2 大学との協働、インターンシップ

ふじみの国際交流センターでは大学や NGO との協働でインターンシップ受け入れや日本工業大学との日本語教材ソフト開発事業などを行っている。

4/22	埼玉大学教育学部サービスラーニング説明会
5/9	社会事業大学より学生の受け入れ
5/14	インターンシップ事業 SSCS 担当者来所
5/18	埼玉大学サービスラーニングスタート
5/30	日本工業大学日本語教材ソフト開発プロジェクト学生来所
6/11	埼玉大学経済学部「NPO と出会う」
7/3	SSCS 報告会
7/18	日本工業大学訪問「日本語教材ソフト開発」
8/26	埼玉大学インターンシップスタート
8/30	埼玉県立大学 IP 演習打ち合わせ
9/7	ルーテル学院大学 先生と学生 8 人来所
9/15	SSCS 担当者来所「記録集作成」
9/16	埼玉県立大学 IP 演習専門職連携会議
9/30	埼玉大学インターンシップ発表会
10/3~5	埼玉県立大学 IP 演習 場所/センター
10/6	埼玉県立大学 IP 演習発表会 場所/狭山保健所
10/14	日本工業大学 先生と生徒 6 人来所
10/28	日本社会事業大学生来所
11/9~11	ホンダ学園インターンシップ 3人
11/15.23.29	勤労者のためのNPO体験事業（インターンシップ）
11/29	埼玉大学「NPO と出会う」
12/16	日本工業大学訪問
1/13	日本工業大学 6 人来所

うち、インターンシップは次のとおりである。

①埼玉大学

NPOの活動を通して「社会人になること」「仕事をするということ」「社会に出ること」とはどういうことかについて学習するインターンシップに協力し、平成23年度は3人の学生を受け入れた。

・7月22日から9月末の間に1人あたり10日間で、生活相談・日本語教室・国際子どもクラブ・社会福祉協議会のイ

ベントに参加の他、事務処理・教材作成・データ分析などの体験を行った。

・9/30（金）： 埼玉大学インターンシップ発表会

発表会では、「外国籍市民の抱えている問題に直に触れて、多文化共生について考えるようになった。特に、親の都合で突然日本に連れてこられた子ども達は、教育をはじめさまざまな問題を抱え生活を送っていることがわかった。」と、子どもたちの問題についての意見が目立った。

②埼玉県立大学

保健医療福祉の現場で外国人患者へより適切に対応するため、埼玉県立大学で保健医療福祉を学ぶ学生が当センターで外国人サポートの実践について学んだ。

・センター担当者から学生に伝えた内容

10/3（月） 午前「携帯通訳について」 午後「シェルターについて」

10/4（火） 午前「生活相談・日本語学習など」 午後スタッフ会議参加

10/5（水） 午前「学校について」 午後「子供、教育などについて」

10/6（木） 午前 IP 演習報告会（狭山保健所）

③勤労者のためのNPO体験事業（インターンシップ）

連合埼玉と埼玉労福祉協の推進する「ネットワーク saitama 2.1 運動」の「NPO インターンシップ」に協力し、シニアインターン生を3日間受け入れた。11/15（火）編集会議・スタッフ会議、11/27（木）日本語教室、11/23（祝・水）外国人地域デビューのイベントで植樹を体験していただいた。

このプロジェクトは体験希望者に、NPO活動に一步踏み出す動機・キッカケづくりが目的のプログラムで、体験者は現在地元の浦和でボランティア活動を始めたとの情報を得ている。

■2-3 語学教室

1) 中国語教室

毎週金曜日 10時～12時 場所／うれし野まちづくり会館 2F 会議室

参加延べ人数—先生 63人、生徒 171人

2) 英語教室

全 47 回・延べ 289 名の参加

日時／毎週木曜日 午後 7 時～8 時と 8 時～9 時

場所／西公民館

講師／アメリカ出身

学習者／高校生から社会人の 7 名

木曜日夜間の英語教室は、3～4 人の少人数制で英会話の学習をしている。語学学習を通してその国の文化についても知ることができる。また、先生と食事会を行い交流も図っている。

3 多言語情報の収集と提供

■3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

毎月初旬に発行できてきた当誌も、それぞれの専門分野にある執筆陣の大きな協力によるが多くなり、より内容が充実してきた。目まぐるしく動く法律的な問題を始め一般生活に至る情報提供に、月 1 回定期的に行われ

ている企画会議の成果が大きいと思える。

一方配布先も「日本語教室連絡会」10教室（志木地区の2教室が新規に参加）にても賛同を得て、配布していただけるようになった。

表紙の変化にお気づきになられたでしょうか。6月号から日本語教室のボランティアスタッフが、オリジナルでイラストを毎月ご提供くださるようになった。日本の心の一端をイラストを通して外国籍の方が理解してくださることを願ってお描き頂いている。

昨今の専門性の高い執筆陣に併行し、センターの主軸となっている生活相談をベースにした企画も多くなり、本誌に対する意識が変わってきたのではないかと感じる。また企画会議における視点も具体性が高くなり、分り易く内容の濃い記事も多くなった。

こうした傾向は、企画会議に参加してくださるスタッフの増加によるもので、企画構成に斬新なものを登場させることができたと評価している。

中でも行政書士のお力添えは記事内容に読者へのきめの細かい配慮がうかがえる要素になっている。

「インフォメーションふじみの」は、2市1町の各行政機関にくまなく配布されているが、新刊発行の都度前号の残り部数が少なくなってきたことを痛感する。理由はさまざまであろうが、外国籍市民の増加もさることながら、厳しい生活環境にあってより身近で信頼しうる情報源としての役割を担い始めてきたのではないかと推察している。

ある配布先では決まって2部中国語翻訳のページだけをはずして持っていかれる方がいる。他言語の方も読まれるだろうからとの配慮かもしれない。貴重な定期購読者がここにもおられると思うと感慨深い。

富士見市では「広報ふじみ」に数年前から毎月本誌の紹介をしていただいている。その影響なのか配布していなかった場所からのご連絡もあって、新規に配布させていただいた。

ホームページ (<http://www.ficec.jp/foreign/>) にも「外国語のページ」として掲載されているが、アクセス数も多くあるとの報告もあり、地域の情報誌ではあるが企画内容が広域的に生かされているという感覚を強くしている。

発行の概要	
翻訳言語	中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、日本語
発行回数、部数	毎月1回、年12回、毎月500部、年6000部発行
配布場所	2市1町の公的機関。他に県下主要公的機関や関係機関。また各日本語教室にも受講生への配布をお願いしている。日本語版のみ全会員に郵送している。
活動内容	毎月1回第一火曜日を編集会議に充て、内容の充実を図っている。
作業の流れ	企画決定⇒原稿作成⇒翻訳依頼（一部アメリカへ）⇒受領⇒内容精査⇒印刷原稿作成⇒印刷⇒配布
スタッフ	企画・原稿作成・編集・印刷・配布関係 計7名、翻訳者6名

164号 4月号	◆リボ払って知っていましたか？ ・こども医療費の受給資格証がおくられました・赤ちゃんの駅ができました・23年度版「資源物・家庭ごみの出し方」・携帯電話を利用した無料通訳がスタート
165号 5月号	◆負けないで！ 東日本・・・国際フェスティバルで応援します ・乳がん検診、胃がん検診が無料になりました・カラス被害の防止のために基本ルールを！！・春真っ盛り「お茶摘み体験」にでかけませんか・外国籍市民にも心強い安心、安全アドバイザー東入間警察署・もっとパソコンを勉強したい方に

166号 6月号	◆戸籍謄本、この内容を知っていますか ・シャロンさん「マイ箸」通販の一部で義捐金・勉強は「国際こどもクラブ」で実力アップを・外国籍市民の目、不思議な日本人の風習
167号 7月号	◆日本人の心“もったいない”は「節電」への合言葉です ・「黄色のレシート」は宝の山。センターの活動資金になっています・「高校進学ガイダンス 2011」開催・携帯電話を利用した通訳付き相談が役所の窓口で！！
168号 8月号	◆身を守り、家族も守る「国民健康保険」 ・外国籍市民が働ける機会が増えました・「児童扶養手当」についてのお知らせ・おぼえておこう“熱中症対策”の6カ条・学校の宿題持って集まれー・通訳付き相談が役所の窓口で！！
169号 9月号	◆自転車のルール違反でも罰金(罰則)はあるのです ・募集！！レッツ エンジョイ国際交流・おすすめしたい私の日本語上達法・表紙イラストの作者からの挨拶です・通訳付き相談が役所の窓口で！！
170号 10月号	◆新しい子ども手当制度です ・富士見市で「国際交流フォーラム」開催・新しい「健康保険証」ができました・日本人と外国人と「一緒に地域作り」しませんか！・おすすめしたい私の日本語上達法・センターからのミニ通信「七夕祭り」・通訳付き相談が役所の窓口で！！
171号 11月号	◆生活の安全を保障してくれる「年金」の仕組み ・秋のひと時を「国際交流フォーラム2011」で市民交流を！！・日本人と外国人との「一緒に地域作り」しませんか！・つつじを植える・放課後児童クラブ入室児童申請開始・通訳付き相談が役所の窓口で！！
172号 12月号	◆外国にいる子どもを呼び寄せるにはどうすればよいのでしょうか ・ひとり親家庭児童の中学進学に支度金・インフルエンザは予防と注射が一番です・「弃天の森公園清掃とつつじを植える会」実施・「自転車の正しい乗り方勉強会」大成功・「川越七福神スタンプラリーと昼食会」で平成24年の幸せをかき集めよう！・ご確認ください 子ども手当が変わりました
173号 1月号	◆DVすぐにご連絡ください ・センターに外国籍市民の相談員が常駐します・国境を越えて日本の文化と世界の料理・電動アシスト付き3人乗り自転車を市からレンタルできます・上福岡駅前がポイ捨て禁止地区に・新年にはおぼえておきたい診療所
174号 2月号	◆通知表の読み方を知っていますか ・台湾の正月料理に挑戦・外国籍市民デビュー企画第4弾川越七福神めぐり・教育ローンの利子に富士見市で補給制度を実施しています・放射能測定器を無料で貸し出しています
175号 3月号	◆どこへ行けばいいの？ 学習できない子の悲痛な叫び ・ふじみの国際交流センターのパソコン教室4月生募集スタート・富士見市でも放射線量測定機器を無料で貸し出しています・子ども手当の申請はお済みですか

■3-2 生活ガイドホームページ

2市1町より更新情報の提供を受け、翻訳、html書き込み、画像化処理等を行い、ウェブにアップロードした。
対応言語：日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語

実施時期	発注者	更新内容	更新時期
平成 24 年 3 月	2 市 1 町	全年度継続	4/25
10 月	ふじみ野市	本文、施設編	11 月
11 月	三芳町	本文、施設編、医療機関	12 月
平成 24 年 3 月	富士見市・三芳町	本文、施設編、医療機関診療科目	4 月末

■3-3 翻訳

1) 行政からの依頼

①埼玉県 2 件

- ・県民生活部男女共同参画課「夫・パートナーからの暴力 悩んでいるあなたに」（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・スペイン語）
- ・県民生活部国際課「在日外国人実態調査票」（英語・中国語・タガログ語・ポルトガル語・スペイン語）

②ふじみ野市 2 件

- ・ふじみ野市生活ガイド改訂（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語）
- ・資源物・家庭ごみの分け方、出し方（英語・韓国語・中国語・ポルトガル語・タイ語・タガログ語）

③富士見市 3 件

- ・国際フォーラムの案内（英語・中国語・ポルトガル語）1 件
- ・シャバツツ市長への親書（英語）2 件

④三芳町 1 件

- ・健康カレンダー24年度版（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）

2) 一般市民からの依頼 72 件

- ・フィリピン 30 件、日本 17 件、パキスタン 8 件、中国 6 件、インド 3 件、スリランカ 3 件、ブラジル 2 件、バングラディッシュ 2 件、韓国 1 件
- ・翻訳内容（出生証明、婚姻証明、戸籍謄本、離婚証明、ビザ申請、年金、事業など）

■3-4 出版、編集

1) 「7カ国語による快適生活情報クリップ」

平成22年度のダイジェスト版を受けての同名の企画で、日本語にまだ慣れていない外国籍市民や生活困窮者を対象に考えたもので、さまざまな生活相談から具体的に解決してきた事例を文字化し、自らが問題解決への道筋を立てられるように期待する生活情報誌を目指している。

本年度は教育編と家族編の2巻を製作した。本企画に賛同されてのご寄付をいただき、主要な配布先を限定し、送付する予定である。

2) 5カ国語による「川越市外国籍市民生活ガイドブック」

「川越市外国籍市民生活ガイドブック」は川越市からの初めての仕事となった。受注から納品までの時間が短く、担当者、翻訳者などの労苦は大変なものであったと推察する。しかし、一方、財源的に低廉で受注したものの、仕上がりは他社以上のものと言う関係者の熱意が実り時期、完成度において遜色の無いものができたものと自負している。

◇判型 A5型 1色 63ページ

- ◇翻訳 英語 中国語 韓国語 スペイン語 ポルトガル語
- ◇納品形態 各国語版下データCD納品
- ◇納期 3月末

4 日本語学習事業

■4-1 日本語教室

ふじみの国際交流センターの日本語教室は、センターがうれし野まちづくり会館に移転して1年余、駅から遠距離との懸念もあったが、当初の予想通り少ないながら近隣に住む学習者が中心となり人数も定着してきた感がある。また、ホームページを見て学習に参加する学習者も散見されるようになった。中でも高校受験を目指した中国の若者は、指導に当たるボランティアの情熱に加えて、近郊の教室にも参加するという熱心さで目覚ましい進歩を遂げていた。結果2名とも希望の高校に合格、4月から通学できることになった。

学習者数を少し詳しく紹介してみると、年間平均週4.3名を数えるが、最近の3カ月を取り上げると、週によってばらつきはあり、最多時で7名、最少2名を数え、指導者の数の調整に手間取ることもあった。

イベントについては学習者の数に影響されたの感を免れないが、それでも日本文化を少しでも楽しんでいただこうと、5月の端午の節句、7月にはソーメンと笹の葉短冊飾りで七夕のイメージを実施した。

懸案であった「東上線沿線日本語教室案内」も和光市から東松山市まで23教室の協力を得て、2年がかりで完成した。完全に当教室の自作ということでスタッフの強力な尽力に感謝を申し上げたい。

大学との連携では、日本工業大学3年生の研究課題としてソフト三件を開発していただいている。内容は「教育漢字の学び方」、「九九の数え方」「市内の利用法」などとなっている。完成は2月を予定していたが、完成度の問題、担当教授の退任などもあり、引き続き内容を考察しつつ24年度の完成を目指している。

将来は著作権問題等をクリアしたうえで、利用書などの開発なども考え、希望の教室への配布も視野に入れている。

学習曜日及び時間——毎週木曜日10時から12時まで。(以下同)

2011年4月～8月

本来は年中無休を標榜してきたが、本年より学習者の減少により祝祭日が重なった時は休校にした。ただ8月13日センター盆休みのため休みにしたが、学習者への「休み」の旨の連絡が行き渡らなかったことを踏まえ開講準備。結果、従来からの学習者が友人を連れてきたので休みの旨伝えたところ学習はしないとの返事で帰っていただいた。

- ・開講回数—21日
- ・講師—平均4人
- ・学習者数—学習者延べ人数 58人、1週平均4.3人、週最多7人、最小2人(お盆休み分)
- ・日本文化を味わってもらおう事業—5/7 端午の節句、8/6 七夕を浴衣とソーメンで楽しむ会
- ・会議—7/7 日本語連絡会(当番)

2011年9月～12月

学習者の数は、減少が続いている。原因は日本経済の低迷や地震が影響しているものと言える。10月に行われた他団体との日本語連絡会においても、減少傾向は報告されてきたが漸増の傾向はみられるという報告もあった。新規受講生参加を期待するにはHPにも一工夫をすることも考えたい。参加者のほとんどが自転車利用であることもヒントになるかもしれない。

- ・開講回数—15回
- ・講師—平均4人
- ・学習者数—学習者延べ人数 51人、1週平均3.4人、週最多4人、最小3人

・日本文化を味わってもらう事業

12/26 蕎麦打ち。秋の行事は特になく、月見を企画しようと考えたが人数のこともあり中止とした。恒例の年越し蕎麦打ちは、ご主人に代わり戸塚講師が担当。毎年の人気どおり賑やかに実施した。年越し蕎麦の由来を語り、学習者からも同じような考えを持つ国もあるという話も出て食文化のつながりも確認できた。

2012年1月～3月

学習者の数は、横ばい状態であった。1月に行われた10団体の日本語連絡会においても、前回の報告では漸増との報告もあったが、今期は減少傾向が報告されている。新規受講生参加を期待するには、特色ある組織づくりも必要ではないかと模索するものである。

・開講回数—13回 ・講師—平均 4人

・学習者数 —学習者述べ人数 50人、1週平均3.9人、週最多6名、最小2名

・日本文化を味わってもらう事業

2/2 節分。豆を買って実施の予定だったが行事の理由説明だけで終わり、豆はそのままお茶受けになってしまった。やはり夜でないと真実味はないのかと反省。

3/1 ひな祭り。さくら餅・甘酒・記念写真撮影。緊急企画・実施のためお琴の演奏などの演出ができなかった。次年度は、ボランティア団体に依頼してとも考えている。新しい発見では、甘酒作りをセンターで行ったが、意外に利用者が少なく外国籍市民の嗜好には合わないのかと思った。

■4-2 国際子どもクラブ

学習者もボランティアも順調に増え、活気を取り戻した。

今年も高校入試を目指し、中国から来た二人の子どもが頑張って希望校に合格した。

12月にはクリスマス会、4月には合格を祝う会をして交流を深めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
学習者	11	13	20	44	45	17	32	20	27	14	17	24	284
ボランティア	21	14	13	44	45	12	23	17	27	20	17	24	277
計	32	27	33	88	90	29	55	37	54	34	34	48	561

(単位:人)

5 子どもの健全育成支援

■5-1 子どもの健全育成支援

1) 目的

昨年度に継続して、埼玉県社会福祉課の業務委託を受け、三芳町の「子ども学習広場」に「子どもの健全育成支援専門員」を派遣し、児童・生徒の生活指導と学習支援を行うこと。

2) 実施内容

実施期間及び場所：毎週月・水・金曜日、藤久保公民館（又は集会所）

小学生クラス：15～17時、中学生クラス：19～21時

スタッフ：支援専門員各クラス2名、ボランティア補助支援員12名

両親又はどちらかの親が外国籍、または海外生活の長い家庭で、日本語を母語としない児童・生徒を主たる対象

として、生活指導と学習支援を通じ、健全育成を行なった。

3) 実績

①開催回数：計画 288 に対し、実績は 292 回と 4 回上回って実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	23年計	22年
小	12	12	13	12	14	9	11	11	9	10	13	13	139	139
中・高	13	13	13	13	14	13	13	13	11	11	13	13	153	149
計	25	25	26	25	28	22	24	24	20	21	26	26	292	288

②支援対象児童・生徒数：昨年度実績に対し、小学生クラスは累積で 88 名（14.7%）増となった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	23年計	22年
小	48	28	41	54	103	38	46	56	62	37	50	46	599	687
中・高	110	118	153	158	138	161	149	140	140	127	176	164	1744	1066
計	158	146	204	212	241	199	195	196	192	164	226	210	2343	1753

③ボランティア・補助支援員数：昨年度実績に対し、小学生クラスは累積で 32 名（6.4%）減となり、中学生クラスは夏休み中一時昼間にもクラスを設けたので、424 名（67.5%）増加した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	23年計	22年
小	35	36	43	55	83	33	32	36	33	33	36	46	501	469
中・高	71	83	94	98	102	80	99	91	91	76	85	82	1052	628
計	106	119	137	153	185	113	131	127	124	109	121	128	1553	1097

4) 成果

- ・この教室の対象は小学生 10 名、中学生・中卒者等 30 名前後の児童・生徒である。日本語を母語としない子どもやひとり親家庭の子どもが多い。
- ・この教室は学習支援が目的であるが、「居場所」としてくる子どもたちも多く、まだその行動には受け入れがたいものもあるが、年々良くなっている。
- ・今年度は中学 3 年生を中心に、高校受験を目標に勉強した子どもが多く、既卒者を含め 13 名、途中転校した子ども 1 名の計 14 名が合格した。1 名は正規社員として就職できた。

6 行政・NGO との協働

■6-1 行政関係会議

9/2	富士見市国際フォーラム打ち合わせ
10/12	2市1町国際化担当者会議 場所/ふじみ野市役所
11/13	富士見市国際フォーラム 在日外国人の主張 (エミリン 柳アンナ)
1/20	DV 策定委員会 場所/埼玉会館
1/24	ふじみ野市ボランティア会議 場所/総合福祉センター
1/26	人権委員会 場所/埼玉会館
2/1	生活相談ネットワーク会議 場所/北浦和合同庁舎

2/16	ふじみ野市本庁舎耐震会議	場所/第2庁舎
3/14	県委託事業三芳町子ども学習広場健全育成事業打合せ	場所/埼玉県庁
3/23	ふじみ野市本庁舎耐震会議	場所/第2庁舎
3/26	DV 被害者支援関係者連絡会	場所/埼玉会館

■6-2-1 NGO・NPO・協力ネットワーク会議

開催	種別	場所	内容	出席者
4/15	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	運営委員会	石井
5/16	NGO-net 定例会	YMCA 浦和センター	今後の方針他	荒田
5/20	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	全大会・講演会・座談会	石井・荒田
6/2	国際交流・協力ネット	県国際交流協会	幹事会	荒田
6/9	同上	日本語国際センター2F	全大会	荒田
6/20	三芳町協働推進会議	三芳町役場	第2次協働のまちづくり 推進策定会議第1回	荒田
6/20	NGO-net 総会・定例会	YMCA 浦和センター	総会	荒田
6/30	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	第1回運営委員会	荒田
8/29	国際交流・協力ネット	県国際交流協会	幹事会	荒田
8/31	南西部地域NPO連絡会	フォーシーズン志木	体験ワールドカフェ	荒田
9/14	同上	朝霞土建整備事務所	第4回運営委員会	荒田
9/26	NGO-net 定例会	YMCA 浦和センター		荒田
10/17	NGO-net 定例会	同上		荒田
10/29	勤労者のためのNPO体験事業	あけぼのビル	事前説明会	荒田
11/6	勤労者のためのNPO体験事業	あけぼのビル	説明会	荒田
12/12	NGO-net 定例会	YMCA 浦和センター	セミナー打合せ会	荒田
12/17	勤労者のためのNPO体験事業	あけぼのビル	体験報告会	荒田
12/21	三芳町協働推進会議	三芳町役場	第2回策定会議	荒田
1/11	NGO-net 定例会	コムナーレ 9F	同上	荒田
1/16	パワーアップセミナー	桜木公民館講座室	第1回検討会	荒田
1/17	タウンミーティング	鴻巣市役所	中央地域	石井
1/19	南西部地域NPO連絡会	朝霞土建整備事務所		荒田
1/27	タウンミーティング	加須市役所	北部地域	山崎
1/30	パワーアップセミナー	県国際交流協会	第2回検討会	荒田
1/28	南西部地域NPO連絡会	きずなステーション (三芳)	安心安全形成フォーラム・ゆるともカフェ	荒田
2/4	同上	にいざほっとぷらざ	高齢者支援フォーラム	荒田
2/14	同上	朝霞土建整備事務所	交流大会説明会	荒田
2/16	国際交流・協力ネット	県国際交流協会	幹事会	荒田
2/21	三芳町協働推進会議	三芳町役場	第3回策定会議	荒田
2/25	グローバルセミナー	With You さいたま	分科会とパネルディスカッション	荒田
2/25	南西部地域NPO連絡会	鶴瀬公民館	防災フォーラム	荒田
3/2	南西部地域NPO連絡会	朝霞市産業文化センター	第3回交流大会準備	荒田
3/3	南西部地域NPO連絡会	同上	交流大会	荒田
3/14	南西部地域NPO連絡会	朝霞土建整備事務所	運営委員会	荒田
3/23	南西部地域NPO連絡会	東上まちづくりフォーラム	市民大学相互交流	荒田

■6-2-2 2市1町日本語教室ボランティアネットワーク会議

日本語教室の活性化のためには、近隣のボランティア団体はどのような活動を行っているか、どのような情報を持っているか、協働してできることはないか、さまざまな要件が存在する。ここでも重要なのは情報の共有であるという認識から発生した二市一町日本語教室ボランティアネットワーク会議は3カ月ごとに開催し、本年も4回開催され計52回を数えるにいたった。

この連絡会は平成10年、当センターが日本語指導の効果的な手立てについて、お互いの情報を持ち寄りたいとして呼びかけたのをスタートとしている。幹事団体として4団体が持ち回りで会議を開催しているが、昨年より志木の「かざぐるま日本語教室」、新座の「新座日本語の会」の参加もあり毎回活発な情報交換を行ってきた。本年よりこの2団体もオブザーバーとしての参加ではなく、幹事団体として参加され、志木、新座の会場での会議が開催されるという新しい形ができた。

成果例としては、当センターが発行した「東上線沿線日本語教室ガイド」が利用され、多方面での情報提供に役立っていることがうかがわれた。また刷り増し贈呈もあり、今後の改定版も視野に入れたい。

連絡会開催日は下記のとおりである。

開催日	幹事日本語クラス	開催場所
4/17 (日)	みよし日本語教室	藤久保公民館
7/17 (日)	ふじみの国際交流センター	ふじみの国際交流センター
10/23 (日)	かざぐるま日本語教室	新座図書館
1/15 (日)	新座日本語の会	新座東北コミセン

7 その他

■7-1 機関誌「ハローフレンズ」

○2011年8月号(第115号)
・第13回通常総会開催 ・平成22年生活相談集計 ・7カ国語による 快適生活情報クリップ発行 ・外国人サポートの現場から(3)
○2011年10月号(第116号)
・ボランティア体験プログラム「体験!ワールドツアー」開催 ・センターで保護したDV被害者分析 ・外国人サポートの現場から(4) ・埼玉県「NPO基金」税制上の優遇措置
○2011年12月号(第117号)
・埼玉県国際課委託事業外国人地域活動デビュー 第一回 「上福岡駅前のゴミをなくそう」報告 第二回 「交通ルール ちゃんと知っていますか?」報告 ・国際子どもクラブ 学習者の分析 ・外国人サポートの現場から(5) ・携帯電話通訳事業の情報誌「FICEC通信」
○2012年2月号(第118号)
・東上世界村へようこそ 報告 ・埼玉県国際課委託事業 外国人地域活動デビュー 第三回「楽しい公園をきれいに」報告

第四回 「川越七福神スタンプラリー」報告 ・外国人サポートの現場から(6) ・ネットワーク SAITAMA21 「NPO インターンシップ」参加者の感想 ・協働舎レタスのパン販売
○2012年4月号(第119号)
・15周年記念国際フェスティバル開催予定について ・生活相談通訳者の常駐 ・生活保護受給世帯が急増 ・外国人サポートの現場から(7) ・大井公民館での国際交流イベント

■7-2 ホームページ

ホームページは、多言語情報誌「インフォメーションふじみの」や機関誌「ハローフレンズ」とともに、センターが外部に対して情報発信、広報をしていくための大きな手段となっている。

内容としては、センターの活動紹介ばかりでなく、外国籍市民に関する統計資料や、多言語による外国籍市民のための「生活ガイド」のページなど、多岐にわたっている。

ホームページの中で特にアクセス数が多いのが、多言語情報誌「インフォメーションふじみの」のPDF版。毎月、日本語のほか、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語の7ヶ国語で掲載されており、海外からのアクセスも多いものと考えられる。また、「生活ガイド」のページも、日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語の6ヶ国語で掲載されており、アクセス数がきわめて多いページとなっている。

毎月のアクセス件数は次のとおり。

	全体のアクセス 件数	トップページ等	インフォメーション ふじみの	生活ガイドホ ームページ	ニュースルーム
2011年4月	26,404	2,360	9,468	9,831	1,497
2011年5月	28,488	2,707	10,819	7,583	1,407
2011年6月	23,602	2,429	9,315	5,616	1,250
2011年7月	23,472	2,423	9,538	5,591	1,367
2011年8月	23,409	2,517	10,062	5,234	1,354
2011年9月	22,232	2,271	9,237	5,164	1,191
2011年10月	24,499	2,882	9,807	5,250	1,015
2011年11月*	24,499	2,882	9,807	5,250	1,015
2011年12月	20,856	1,963	8,442	5,178	1,077
2012年1月	23,858	2,321	9,754	5,506	1,364
2012年2月	26,494	2,122	11,864	6,420	1,282
2012年3月	31,933	2,576	14,849	6,807	1,639
計	299,746	29,453	122,962	73,430	15,458

*注:2011年11月はデータ取得できなかったため、前月データで代替。

■7-3 センター利用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数		27	24	29	30	26	27	26	27	24	23	27	27	317
来訪者	外国人	59	64	88	109	121	107	102	93	112	88	85	79	1107
	日本人	59	60	57	87	59	61	66	45	41	58	58	48	699
	小計	118	124	145	196	180	168	168	138	153	146	143	127	1806
スタッフ	外国人	0	0	0	3	9	13	22	19	18	17	12	18	131
	日本人	213	216	162	200	165	181	170	167	169	142	189	177	2151
	小計	213	216	162	203	174	194	192	186	187	159	201	195	2282
合計		331	340	307	399	354	362	360	324	340	305	344	322	4088

■7-4 その他

4/17	イオン「黄色いレシートキャンペーン」贈呈式
5/20	東入間遊戯業防犯連絡会贈呈式（鶴瀬）
5/25	国際交流協会評議委員会（北浦和）
6/3	会計監査1回目
6/5	会計監査2回目
6/13	埼玉県人権推進懇話会（知事公館）
6/16	三芳町子ども支援課 要保護児童見守りについて
6/22	埼玉県社会福祉課訪問 助成金申請について
7/6、20、8/24、9/20	保科先生 研究のため来所
7/13	埼玉NPOセンター職員アンケート調査のため来所
7/14	ふじみ野市改革推進会議（ふじみ野市本庁舎）
7/15	DV被害者支援基本計画策定委員会（埼玉会館）
7/28	大井地区ボランティアネットワーク会議（福祉会館）
7/29	埼玉県人権推進懇話会（JA高砂会館）
7/30	ふじみ野市人権推進委員会（本庁舎）
9/2	埼玉県人権推進懇話会（埼玉会館）
9/15	富士見市人材バンク交流会（鶴瀬西交流センター）
9/28	埼玉県人権推進懇話会（防災会館）
1/19	ボッシュ(株) 通訳者依頼のため来所
1/24	ふじみ野市大井地区ボランティア会議（福祉会館）
1/28	ふじみ野市市民活動交流会（西公民館）
2/12	NPO活性化について（FICEC）指導/ハンズオンさいたま 参加20名
2/18、25、26	会計力強化事業（FICEC）指導/資産相談センター 参加3名
2/25	ふじみ野市ボランティア連絡会発足式 場所/西公民館
3/4	やさしい広告力アップ講座（埼玉会館）

センター内会議

月日	会 議	主な内容	出席
4/1	15周年事業会議		
4/15	15周年事業会議		
4/19	第1回 スタッフ会議	うれし野会館の警備の変更、黄色いレシートキャンペーン、国際子どもクラブ、宮城県山元町への義援、携帯電話通訳事業のPR方法、翻訳者について	12人
4/20	15周年事業会議		
4/29	15周年事業会議		
5/7	第7回理事会	平成22年度収支報告書、会計・事務局の新体制、雑給謝金等の振込み方法について、「国際フェスティバル」に向けて、平成22年度事業報告と23年度事業計画、平成23年度理事	8人
5/10	第2回 スタッフ会議	平成22年度事業報告の検討、23年度携帯電話通訳事業の報告、外国人地域デビュー支援事業に応募、国際フェスティバル準備	10人
5/13	15周年事業会議		
5/21	第8回理事会	総会資料の検討、平成23年度新規理事人選について、「ハローフレンズ」発行について、事務職員の雇用契約書と就業規則、謝金等の支払い規定	10人
5/24	第3回 スタッフ会議	国際フェスティバルの最終確認、事務職員の勤務体制、ハローフレンズの発行、外国人地域デビュー支援事業の企画案、被災者支援事業の協力、外国人モニターの募集	13人
6/14	第4回 スタッフ会議	国際フェスティバルの今後、第13回通常総会の最終確認、国際フェア2011参加検討、ハローフレンズについて、国際理解、会計監査終了の報告、上福岡七夕祭り、日本工業大学とのとりくみ、彩の国さいたま国際交流協力ネットワーク会議、携帯電話事業からのお願い	10人
6/19	総会	平成22年度事業報告、決算報告、23年度事業計画審議	26人
6/19	第1回理事会	2011年度三役選出、理事会日程、「国際フェスティバル」について、埼玉県国際課委託事業「外国人地域活動デビュー支援事業」の申請について、認定取得について、「多言語生活情報クリップ」の追加発行について	9人
7/5	第5回 スタッフ会議	理事会報告、「ハローフレンズ」編集会議報告、外国人スタッフ当番について、交通費請求について、「生活情報クリップ」継続発行について、県国際課「外国人地域デビュー」企画、インターンシップ、富士見市「国際フォーラム」、日本工業大学「日本語学習ソフトウェア」進捗状況、夏休みの「国際子どもクラブ」と日本語勉強	10人
7/24	理事会準備会		3人
7/30	第2回理事会	埼玉県外国人地域活動デビュー支援委託事業、「DV被害者ボランティア育成講座」、「快適生活情報クリップ」家族編、教育編の作成について、シェルター使用停止に伴うお願い、外国人の当番配置について、4月から6月の会計報告	9人
8/2	第6回 スタッフ会議	インターンシップ受け入れについて、イオン商品券、外国人デビュー事業、翻訳業務について、携帯通訳事業について、お盆休み、上福岡七夕祭り、ゴミ持ち帰りのお願い	12人
8/16	第7回 スタッフ会議	外国人地域活動デビュー支援事業第1回準備、NPO法人の個別支援事業、入間西・入間東地域専門職連携推進会議、DV被害者支援民間団体交流会、インターンシップ、外国人スタッフ当番の受け入れ態勢について	8人

9/4	理事会準備会		3人
9/6	第8回 スタッフ会議	外国人地域活動デビュー支援事業企画決定、富士見市「国際交流フォーラム」、埼玉県留学生研修、県立埼玉大学 IP 演習、インターンシップ、外国人スタッフ当番の「手引き」作成、日本語教育関係書籍の寄贈について、NPOと企業のマッチングフォーラム、翻訳料の支払い方法の見直しについて、「ハローフレンズ」掲載記事の協力について	12人
9/10	第3回理事会	携帯電話通訳事業進捗状況、指定寄付、「快適生活情報クリップ」家族編・生活編(案)の作成の申請、NPO税制改正に伴う寄付拡大について、平成25年拠点使用停止に向けての経過報告、認定NPOの申請について再検討	9人
9/20	第9回 スタッフ会議	外国人地域活動デビュー支援事業、企業からのインターンシップ「NPO体験」受け入れについて、埼玉県立大学インターンシップ(IP演習)、携帯電話進捗状況、高校入学に向けて勉強中の男子の進路について、情報クリップ「家族、教育編」	11人
10/4	第10回 スタッフ会議	外国人地域活動デビュー支援事業第1回報告、「外国人と日本人との相互交流事業」、2市1町国際化担当者会議、「センター15年誌」作成について、日本工業大学日本語教材ソフト進捗状況、木曜日日本語教室と土曜子どもクラブへの協力要請、外国人留学生研修	11人
10/18	第11回 スタッフ会議	「日本人と外国人の相互交流事業」、2市1町国際化推進会議の報告、外国人地域活動デビュー支援事業、「NPO認定取得・ステップアップのための個別支援事業」、日本工業大学日本語教材ソフト中間報告、「地域力アップ事業」	10人
11/1	第12回 スタッフ会議	外国人地域活動デビュー支援事業、富士見市「国際フォーラム」、「グローバルコミュニケーションフォーラム」、パソコンとプリンター購入について、社会人のNPOインターンシップ体験事業受け入れ、携帯電話通訳事業報告、「NPO個別支援事業」勉強会、ホンダ学園の学生ボランティアの受け入れ、	8人
11/15	第13回 スタッフ会議	外国人地域活動デビュー支援事業、富士見市国際フォーラムの報告、携帯電話通訳事業、PC・カラープリンタ購入希望	10人
11/26	第4回理事会	上半期事業報告、決算報告、15周年記念・国際フェスティバルについて、交通費支給について、24年度新理事の推薦について、携帯電話通訳事業の来年度計画、来年度の予算の見直し、子どもの健全育成事業費(三芳)から入る管理費の使い道、「NPO個別支援事業」組織力強化勉強会、理事会の役割とスタッフ会議の役割について	9人
12/6	第14回 スタッフ会議	南西部地域NPO連絡会主催の交流会、外国人地域活動デビュー支援事業、15周年記念行事について、呼び寄せられた子どもの経過報告と対応、うれしの会館防災訓練報告、各活動の来年度事業計画と予算、会計用パソコン、カラープリンタの購入、「地域力アップ事業」報告	11人
12/27	第15回 スタッフ会議	外国人地域活動デビュー支援事業、「国境を越えて日本の文化と世界の料理」、携帯電話通訳事業、「欧米の人と親しくなろう」、富士見市民大学フォーラムの報告、新年会について、DV被害者支援ボランティア育成講座、平成23年度を振り返って	11人
1/10	第16回 スタッフ会議	平成24年を迎えて夢・抱負・希望を一人一言、外国人地域活動デビュー支援事業、新年会、新PCとプリンター環境について、12月までの事業報告と会計報告、「国境を越えて日本の文化と世界の料理」、DV被害者支援ボランティア育成講座	12人

1/14	第5回理事会	平成24年を迎えての夢・抱負、15周年記念・国際フェスティバル、平成23年度総会、携帯電話通訳事業の今後、24年度新理事について、スタッフ・理事勉強会「組織力強化」、	7人
1/14	新年会	スタッフ・翻訳者・日本語教室学習者などがうれし野会館3Fのホールに集まり軽食、ゲームをしながら交流	23人
2/7	第17回 スタッフ会議	外国人地域活動デビュー支援事業報告会について、企業からの通訳者派遣依頼の対応、携帯電話通訳者研修について、15周年記念国際フェスティバル、東上フォーラム報告と次回予告	14人
2/21	第18回 スタッフ会議	「やさしい広告力アップ講座」報告、ハンズオン埼玉「組織力強化」研修会報告、国際フェスティバル第1回実行委員会報告、ふじみ野市ボランティア連絡会、通訳翻訳の対応について、三芳健全育成子ども広場活動報告	9人
3/27	第19回 スタッフ会議	東上フォーラム「世界を知ろう」報告、大井公民館「世界のおやつ作り」報告、外国人スタッフの生活相談、三芳健全育成子ども広場の来年度委託について、「立ち上がろう公民館プロジェクト」、埼玉県NPO基金助成事業募集、スタッフ会議の日程変更について、国際フェスティバル第2回実行委員会報告、	13人
3/31	第6回理事会	「『世界村』づくり」の協力依頼について、来年度の理事、県委託事業三芳町子ども学習広場健全育成事業、平成24年度事業費予算案の見直し、理事・スタッフ・ボランティア研修会開催の提案、「国際フェスティバル」の実行委員会報告、総会に向けて	9人

平成24年度 事業計画

ふじみの国際交流センターは、平成9年4月の発足。埼玉県内日本語教室連絡会の発足を機に、「外国人と日本人が24時間365日交流できる拠点が必要」という認識のもと、「地域国際交流センターを作りませんか」と近隣市町の住民に呼びかけて、活動をスタートさせた。さまざまな皆さまの支援のおかげで、今年15年目を迎えることができた。

発足当時は人口の1%程度だった外国人が、国際結婚の増加・少子高齢化に伴う労働力不足などの理由で、約2倍に増えた。それに伴い、地域社会の中にも「外国人にも支援が必要」「外国人も市民として認めていこう」という認識が出てきていると感じられる。これからは、外国籍市民を「住みよい街を作る仲間」として、それぞれのスキルを生かした協働の相手と認めていかなければいけない時代になったと思う。

7月9日からは外国人登録法が住民基本法に移行し、外国人も日本人と並列で住民票に記載されるようになる。やっと少し、外国人の人権が認められた気がする一方で、業者の仲介による偽装結婚の増加、定住者ビザを有する日本語の読み書きができない外国人生徒の就学就労問題、国際結婚による離婚と生活保護家庭の増加、単純労働者の受け入れ等、外国人をめぐる問題は山積している。ふじみの国際交流センターの役割はますます増えることと考えられる。

5月19日のフェスティバルを皮切りに、外国人の生活支援と多文化共生社会実現を目指して、平成24年度も皆で力を合わせ、おおいに頑張りたいと考えている。
(文責：石井ナナエ)

		事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国人の人権擁護と自立支援		生活相談	通年	センター他	10名	700件
		シェルター	通年	センター・県内	10名	延200名
		DV講習会・生活相談勉強会	15回	ふじみ野市・センター他	10名	100名
		パソコン教室	第2,4木曜24回	センター	2名	延130名
		携帯電話通訳事業	月～金PM	県内	13	400名
交流の推進 国際理解と国際	国際理解社会教育	国際理解講座	7回	小中高校・公民館他	12名	750名
		大学との協働	7大学	大学・県NPO活動推進課	5名	1000名
	語学教室	中国語教室	金曜	センター	5名	延150名
		英語教室	木・火曜	西公民館	2名	250名
多言語情報の収集と提供		生活情報誌の発行	12回	センター	11名	4800部
		生活ガイドHP維持管理	4回/年	センター	6名	アクセス数80,000件
		翻訳	80件	センター・県内	15名	埼玉県民
		出版、編集	随時	センター	3名	埼玉県民
日本語学習支援		日本語教室	木曜	センター	6名	延150名
		国際子どもクラブ	土曜、長期休暇中	センター	6名	延280名
子どもの健全育成	子どもの健全育成支援	月・水・金	藤久保公民館他	延250名	延2000名	
行政との協働		行政との協働事業	通年	県内	10名	埼玉県民
		NGO・NPO・協力ネットワーク	40回	県内	5名	埼玉県民
その他		機関誌の発行	隔月	センター	3名	8000部
		ホームページ	随時	センター	2名	アクセス数300,000件

■生活相談

平成 24 年 7 月 9 日から入管法が大きく変わり、新たな在留管理制度がスタートする。その手続きの方法や内容理解の為の相談が増えるのではないかと予想している。スタッフ一同研修会等に積極的に参加して時節に合った正しい情報を提供できるように頑張りたいと思う。

■シェルター

平成 25 年 3 月末をもって現在の場所を引き揚げなければならない。DV 法の存続が確認できていないが利用者が多い以上、シェルター事業を廃止するわけにはいかない。そこで今年度はシェルター事業継続の方策を考えるプロジェクトが結成された。DV 被害者のためにどのような事業が可能かを考えていくことにしている。

■パソコン教室

一般受け入れの方も大分慣れてきたので、時々特別授業を織り込みながら従来の授業も進めていく予定である。積極的に外国籍の方にも声をかけ、日本での生活の助けになりたいと思う。

■携帯電話通訳

平成 24 年度は、さいたま市を除く 4 市町と引き続き契約を締結。平成 24 年度予算は 192 万円（4 市町からの収入 144 万円+繰越金 48 万円）で事業を行う。事業継続と、サービス向上に必要な資金獲得のための助成金申請も引き続き行っていく。（日本財団へ申請予定）

通訳者研修会は平成 23 年度と同様に毎月 1 回開催する。また、生活相談を母国語で通訳するシステムをさらに充実させるために、今後生活相談員として必要な知識を習得する内容に絞りこんで進めていく。研修を積んだ通訳者と日本人相談員が組むことによって、生活相談をより一層充実させ、行政へのサービスにつなげていきたい。また、日本人スタッフに、この事業を理解してもらうために、研修や事務局会議への参加を呼び掛けていく。

■生活情報誌「インフォメーションふじみの」

- ①日常生活に直結した役立つ紙面を目指し、2 市 1 町の情報にアンテナを張りめぐらしたい。
- ②例年、富士見市の「広報ふじみ」で本誌を紹介してもらっている。そこで、ふじみ野市、三芳町においても同様に広報誌に掲載してもらうことについて働きかけたい。
- ③新しいスタッフも増え、月 1 回の担当者会議も充実してきた。7 月から外国籍市民の登録が住民票に変わるという大きなニュースに対して、4、5、6 と 3 カ月の連続企画として扱ってきた。こうした記事を増ページで処理することで、内容の濃い記事に仕上がるものと考えられる。

■日本語教室

- ①日本語教室開設以来、ずっと日本文化の一端を味わっていただくということで、季節に合わせたイベントを実施してきた。毎回のことながらスタッフの皆さんの力強い協力に感謝している。こうしたイベントはこれからも続けたい。特に蕎麦打ち体験は、楽しいイベントで本年度も実施していきたい。またセンターのイベントと限定することなく日本語教室連絡会にも呼びかけ、多くの参加者を募っていきたい。今後は、富士見市の人材バンクの登録者の登場も視野に入れていきたい。
- ②前年は新企画として「東上線沿線日本語教室案内」を完成させた。3、4 件の引き合いもあり、今後の改定も含めて利用法を考えたい。
- ③センターの日本語教室は日本人との交流を通しての日本語を学ぶ姿勢を堅持してきた。したがって指導に参加す

るボランティアに資格条件はないが、参加者に知識として持ち帰っていただけるものを提供するのもセンターにおける日本語教室の使命であろうと考える。その点も含めて先達伝授する外国籍市民への日本語指導という立場から考える外国籍市民と付き合う法を考えてみたい。

- ④昨年「日本語教室」の受講生からの要請があった駅からセンターまでの道順の詳細図を作成し、交番や役所などの公共施設に置けるものを作ってみたい。「インフォメーションふじみの」やセンター案内に出ているので理解できるものと思うが、できればより詳細なものを用意することで遠距離のイメージを少しは緩和できるのではないと思う。HPなどでも紹介したい。

■日本工業大学との協働による日本語学習ソフトの開発

より使い勝手のあるものを研究したいとの話もあり、年間を通して交流を密にし、作業の進捗に協力したい。可能ならば並行して文字媒体によるテキストの作成も検討している。

■7カ国語による快適生活情報クリップ

平成24年度も引き続き2巻を目標にシリーズを増やしていきたい。すでに昨年同様、賛同者からの寄付金をいただいております、編集費の一部に充てることになっている。しかしほぼ独自企画のため製作費にかなりの工夫を強いられることは間違いない。目標は20巻を目指そうということになっている。

本年度も2巻、同形態、同ページで編集予定。内容については、編集会議の結果を待って実施する予定であるが、当初の案としては「入管」「防災」編を予定している。

■国際フェスティバル

当センターは今年で15周年目を迎えた。会員のみなさまや行政職員のみなさま、それにたくさんのボランティアに支えられて活動をしてきた。これまで、応援して下さった大勢のみなさまへの感謝と、多文化共生・国際交流を目的にフェスティバルを開く。昨年は、天候に恵まれなかったために実施できなかったが、今年こそ実施できるように願っている。

日時 5月19日(土) 11時～16時 小雨決行

場所 ふじみ野市東原中央公園(イオン横の広場)

協力 ふじみ野市 富士見市 三芳町

内容 世界の料理、世界の踊りと演奏、

バザー、東日本大震災義援活動、日本語教室、トルコの雑貨販売、パルシステム埼玉、

留学生集合、わたあめ、ポップコーン、おもちゃすくい、ふじみの国際交流センターの15年、

埼玉県警ブラスバンド・カラーガード隊